

令和4年度  
各関係機関・団体  
活動報告書

大野市青少年問題協議会

(1) 令和4年度の活動報告

- ・ 子ども安心県民作戦の実施      市委託料及び県補助金を活用して各小中学校で実施
  - ・ 活動促進会議の開催
  - ・ 登下校の辻立ち、付き添いなど見守り活動
  - ・ 危険個所の確認、安全マップの改訂
  - ・ 見守り関連用品の購入
  - ・ 地域への啓発活動、見守り隊への感謝のつどいの開催 等
  
- ・ 社会参加活動事業の実施      市委託料を活用して各高等学校で実施
  - ・ 各種ボランティア活動
  - ・ 教員や地域における子どもの安全・安心に関する活動
  
- ・ 校区運営委員長・事務局長合同会議の開催（会場13名、オンライン参加12名）  
5月12日（木）学びの里「めいりん」
  
- ・ 啓発手紙の募集・最優秀賞作品ポスター作成  
テーマ「わたしに できる 思いやり」～行動・言葉・助け合い～
  
- ・ 大野市青少年健全育成推進大会の開催（会場145名、オンライン視聴26名）  
8月20日（土）学びの里「めいりん」
  
- ・ 広報紙「すこやか」の発行（全戸配布）      98号（10月発行）、99号発行（3月発行予定）
  
- ・ 全校区一斉おはようの日の実施      7月7日、10月7日、2月2日実施済
  
- ・ ネット安全安心ふくい研修会（奥越ブロック合同研修会）（中止）
  
- ・ 青少年健全育成福井県民大会への参加（7名）      10月29日（土）福井県生活学習館
  
- ・ 見守り用品の配布      防犯ホイッスルを令和4年度見守り隊新規登録者に配布

(2) 「大野市青少年方針・令和5年度の共通目標」（案）について  
特になし

(1) 令和4年度の活動報告

1 交通安全一斉指導（学校毎、各校教職員が全校体制で指導）

春季：4月中旬～6月上旬

秋季：9月初旬～9月下旬（各日程において、学校ごとに実施日を設定）

- ・大野・勝山市内の主要通学路で登校時の見守り活動等を実施
- ・自転車通学生の並進防止やスマホ使用防止など、交通マナー全般にわたり指導
- ・各校教職員以外にも、PTA（保護者）や交通指導員の方々も参加

2 少年非行防止一斉指導に係る一斉補導（各校生徒指導部員が巡視）

第1期：7月中旬

第2期：8月中旬

第3期：9月初旬

第4期：2月下旬

※コロナ禍のため、学校ごとに学校行事に合わせて、放課後の巡回指導を実施

3 校外巡視（学校毎、各校生徒指導部員が巡視）

主な巡回場所：量販店（V I O）、コンビニ、公園、河川敷、カラオケ店、  
自動車学校、体育館、公共施設、その他生徒が立ち寄りそうな場所

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」について

特になし

1 令和4年度の活動報告

(1) 青少年の健全育成活動の推進

- 非行防止・被害防止活動
  - ・ 署員や少年警察ボランティアによる街頭補導活動、登下校時の見守り活動等の実施
  - ・ 署員が集団下校する小学生児童に帯同し、子供110番の家の場所確認、不審者遭遇時の対応要領を指導（10月）
  - ・ 非行少年・被害少年等の継続的な支援活動の推進
  - ・ 少年警察ボランティアから市内小学校等に対するセイフティホイッスル及び防犯ポスターの配布
  - ・ 高校における自転車防犯診断（6・7月）
- 少年の規範意識向上を図るための教育
  - ・ 小中学校における、初発型非行やSNS利用をテーマとした非行防止教室の実施
  - ・ 小中高校における、薬物乱用防止の啓発活動
  - ・ 少年警察ボランティアと小学生による大野駅の清掃活動（8月27日）
- 広報啓発活動
  - ・ 未成年者喫煙防止啓発活動の実施
  - ・ 各種会合・イベントにおける非行・被害防止・フィルタリング設定の広報の実施

(2) 児童の安全確保活動の推進

- 少年の福祉を害する犯罪の取締り  
各種法令を適用した取締りを徹底
- 児童虐待事案に対する適切な対応  
児童相談所等の関係機関と緊密な連携により迅速・適切に対応
- 不審者対応訓練の実施  
市内小中学校等における不審者対応訓練を実施

2 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」に関する意見書

なし

(1) 令和4年度の活動報告

期 日	事 業	内 容
7月8日(金)	第1回 主事会 (問題行動地域対策会議後)	・夏季休業中の生徒指導について (市教育委員会からの指導と協議) ・情報交換
7月14日(木)他	遊泳禁止看板設置	・真名川、九頭竜川に禁止看板の設置 作業 (奥越青少年愛護センターとの 合同作業、会長・事務局が参加)
9月8日(木)他	遊泳禁止看板撤去	・撤去作業 (奥越青少年愛護センター との合同作業、会長・事務局が参加)
12月2日(金)	第2回 主事会 (問題行動地域対策会議後)	・冬季休業中の生徒指導について (市教育委員会からの指導と協議) ・情報交換 (タブレット持ち帰り)
2月9日(木)	第3回 主事会 (紙上)	・学年末学年はじめ休業中の生徒指導 ・今年度の反省

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標(案)に関する意見書

なし

(1) 令和4年度の活動報告

1 子ども対象事業

(1) 「子どもチャレン大会」 (参加者23名)

小学生を対象としたチャレンジランキング大会の実施

令和4年10月9日(日) 学びの里「めいりん」体育館

(2) 創作活動「子ども手作り教室」 (中止)

令和4年11月6日(日) 学びの里「めいりん」家庭科室 他

(3) 「ふるさとかるた大野市決戦大会」 (参加者35名)

令和5年1月22日(日) 学びの里「めいりん」和室大

小学生低学年の部・中学年の部・高学年の部

地区予選会を市内10箇所(公民館・児童センター)で開催

令和4年12月開催 総参加者: 118名

(4) 県子連壁新聞づくり (制作数: 6点 参加者数: 16名)

令和4年7月～9月の期間を通して制作活動

児童館3館と阪谷公民館

小学生低学年の部・高学年の部

2 育成者・指導者研修

(1) 福井県子ども会育成連合会総会 令和4年5月21日(土) 生活学習館

(2) 福井県子ども会育成研究大会 令和4年12月11日(日) 生活学習館

(3) 東海北陸地区子ども会育成研究協議会 (中止) 富山県

(4) 奥越・高志地区子ども会育成者・指導者研修会 令和5年1月29日(日)

永平寺町松岡公民館

(5) 全国子ども会育成中央会議・研究大会 (中止) 札幌市

(2) 「大野市青少年方針・令和5年度の共通目標」(案)について

特になし

(1) 令和4年度の活動報告

◆犯罪や非行からの更生、再犯防止の支援、薬物犯罪など犯罪予防の啓発活動という方針に添って保護司のスキルアップを目指し、年間を通じて月1回のペースで研修を実施してきた。

◆社会を明るくする運動

犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深めるための全国的な「社会を明るくする運動」に当たり、令和4年7月1日に市内のヴィオとみつわで街頭呼びかけを行った。

◆薬物犯罪防止啓発活動

令和4年11月20日、大野市役所駐車場で開催された新そばまつり会場で薬物犯罪防止を呼びかけた。

◆中学校での「おはよう」のあいさつ声かけ活動に参加

実施内容：令和4年10月7日及び令和5年2月2日の朝の登校時間帯に、学校の先生方やPTA会員と協同して生徒に「おはよう」の声かけを行った。

参加場所：開成中学校、陽明中学校、上庄中学校、尚徳中学校

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」に関する意見書

意見なし

(1) 令和4年度の活動報告

- ・ 4月28日 令和4年度定期総会（結とびあ）
- ・ 5月28日 令和4年度年次総会（書面決議）
- ・ 7月中旬 広報紙「すくすく」発行
- ・ 8月26日、27日 日本PTA全国研究大会（山形大会） 1名参加
- ・ 9月30日、10月1日 日本PTA東海北陸ブロック研究大会（名古屋大会） 3名参加
- ・ 10月15日 奥越ブロックPTA活動地区別研修会（大野市文化会館）  
実践発表・・・有終南小学校PTA
- ・ 12月3日 県PTA連合会研究大会（県生活学習館）各単位PTA代表
- ・ 12月3日 家庭教育講演会（市教委と共催）  
絵本作家 サトシン氏 「おはなしで寄り添う心と心」
- ・ 3月上旬 広報紙「あゆみ」発行

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」に関する意見書  
案どおりで良いと思います。



(1) 令和4年度の活動報告

【交流事業（単位民児協）】

共通の事業・・・あいさつ運動・登下校見守り活動・夏休みラジオ体操巡回

- ・中部 偕生慈童苑との交流（5月：花壇づくり）  
児童センター行事支援（西部・南部・東部）、公園の安全点検（夏・春休み）
- ・北部 3歳未満児宅訪問（5月）、北部児童センターでの交流
- ・南部 新入学児童宅訪問（3月）  
上庄小、小山小、上庄中学校、開成中学校での地域交流事業への参加
- ・東部 地区内2小学校（富田小、阪谷小）6年生交流会（10月）
- ・和泉 地区小中学生交流会（和太鼓演奏会、体験学習、夏休み）

【研修事業（単位民児協）】

- ・中部 地区内小中学校長との情報交換会、児童生徒理解のための研修
- ・北部 地区内小中学校（校長・生徒指導担当教諭）との情報交換
- ・南部 地区内の諸問題に関する駐在所との情報交換
- ・東部 地区内駐在所や地区内小中学校長との情報交換、県立盲学校視察研修
- ・和泉 和泉地区のネットワーク会議への参画

【主任児童委員会】

- ・大野市における児童支援についての研修（10月）
- ・児童虐待防止活動への協力  
（11月：ショッピングモールでのチラシ配り、民児委員用オレンジリボン作製）
- ・県主任児童委員研修会参加（2月）
- ・主任児童委員PRチラシ配布（6月）
- ・子育て支援センターへの支援事業（10月：大型絵本プレゼント）

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」に関する意見書

②青少年との信頼関係を強固にするため、青少年の理解に努めるとともにその現状を探求する。

↓

「構築」にしてはどうか

↓

（良い言い回しはないか）

1 令和4年度の活動内容

・補導活動・研修会等

- ① 4月20・21日「篠座神社祭礼」巡回補導（13名自主参加）
- ② 5月14・15日「日吉神社祭礼」一斉巡回補導51名参加
- ③ 6月14日 大野市・勝山市合同補導委員研修会31名参加  
社会福祉士 中村純代氏「今、子どもに何が起きているか」
- ④ 7月 7日 第1回全校区一斉『おはようの日』参加
- ⑤ 7月21日～8月29日 ラジオ体操、河川での遊泳等の巡回補導108名参加
- ⑥ 8月13日 大花火大会一斉巡回補導25名参加
- ⑦ 8月15・16日 おおの城まつり一斉巡回補導37名参加
- ⑧ 8月19日 奥越愛護センター補導委員研修会27名参加  
三嶋友香氏「おくえつカラフィットの子どもたち」
- ⑨ 9月30日 理事・分室委員合同研修会12名参加  
黒田祐二氏「ストレスとの向き合い方」
- ⑩ 10月18日 一日県外研修 彦根市少年センター「あすくる彦根」見学13名参加
- ⑪ 10月 7日 第2回全校区一斉『おはようの日』参加
- ⑫ 11月2日・3日 柳廼社祭礼一斉巡回補導51名参加
- ⑬ 12月24～1月7日 年末年始巡回補導～校区毎に計画実施
- ⑭ 2月 2日 第3回全校区一斉『おはようの日』参加
- ⑮ 3月下旬 年度末巡回補導（自主活動）

- ・コロナウイルス感染者数減少により、市内神社祭礼や大花火大会、おおの城まつりが実施され、計画通り一斉巡回補導活動や補導委員研修が予定通り実施できました。
- ・日常の巡回補導に加え、登下校時間も見守り活動を展開し声掛けを行っています。
- ・善行青少年の奨励と顕彰（大野市は16個人、9団体が表彰）
- ・社会環境調査（2月27日実施）～市内携帯電話量販店、書店、カラオケ店、ビデオ店、玩具店、金物店等の巡視および店内成人向けコーナーの点検を実施しました。
- ・4月より大野市中学校の部活動が入部任意となります。入部しない生徒が下校時等に不審者の被害に遭わないよう、巡回補導の在り方も考えていく必要を感じます。

2 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標（案）」について

特にありません。

(1) 令和4年度の活動報告

① 運営方針

○市、大野警察署、市防犯隊及び市内各団体の協働により、安全で安心なまちづくり推進会議を実施し、犯罪のない「安全で安心なまちづくり」を推進した。

② 活動内容

○犯罪・事故の未然防止、地域住民の安全に関する関心を向上させることに効果的な青色回転灯を装着する自動車による「青色防犯パトロール」を実施した。

・毎週水曜日、市防犯隊による夜間の青色防犯パトロールを通年で実施（年36回）

○大野市安全で安心なまちづくり推進会議加盟団体による防犯広報活動を強化した。

・市内量販店等での街頭啓発活動実施 10/13

・県の「安全で安心な地域社会づくり事業」補助を活用し、市内9小学校区域内の危険箇所等を中心に、夜間パトロールを実施した。

活動時期：夏休み期間中 8/17、シルバーウィーク 9/14

安全安心旬間（ポスターの掲示）10/11～10/20

防犯隊年末特別警戒 12/2

（計 年4回実施）

活動人員：所属団体 18団体 延べ 123人が参加

(2) 「大野市青少年育成方針・令和5年度の共通目標」に関する意見書

修正なし

(1) 令和4年度の活動報告

安心して出産・子育てができ、すべての子どもが健やかに成長することができるよう、下記事業を実施し、子育て支援充実を図った。特に虐待予防の観点から、健全な親子・家族関係を築くことができるよう、関係機関と連携し、妊娠・出産・子育て期を通した切れ目のない支援を行い、発達段階に応じた思春期保健対策に取り組み、心身の健全育成に努めた。

また、新たな事業として、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と、妊娠・出産時の関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を令和4年4月以降に出産された方を対象に実施している。

【実施事業（青少年関連）】

※実績は R5.2 月末時点

事業名	内容	実績
子育て世代包括支援センター事業	地域で安心して妊娠・出産・子育てができるよう保健師などの専門職が相談に応じ、必要な支援を行う。(妊娠届出時の相談支援、専門職による面談・相談など) 若年妊娠、精神疾患既往などハイリスクケースは随時面談、訪問等実施し虐待予防に重点をおいた支援を行った。	ハイリスクケース 対応 21 件
妊婦情報事前登録制度	個人の希望により事前に登録した妊婦情報を消防本部と共有することで、家族の不在時や緊急を要する場合に救急車で迅速な搬送につなげた。	96 件登録うち 2 件搬送
妊産婦・乳児健康診査	医療機関において定期的に実施し、異常の早期発見と早期治療につなげた。	妊婦:1,377 名 乳児: 342 名 産婦: 123 名
乳児家庭全戸訪問事業	生後 4 か月までの乳児がいる家庭を保健師等が訪問し、児の発育状況や育児環境の確認、保護者への支援を行った。	132 件
育児相談会	乳幼児の身体計測や発育の確認、離乳食教室、個別の育児相談や保護者同士の交流支援を通じて、子育ての不安軽減、育児支援を行った。	21 回 (月 2 回) 児 421 名 保護者 413 名
1 歳半、3 歳児健診	児の心身の発達状況を確認する。あわせて虐待のリスクアセスメントや保護者への支援、状況に応じて健診後に関係機関との連絡調整を行う。健診未受診者は訪問等を実施。	21 回 (各月 1 回) 1 歳半:151 名 3 歳:154 名
2 歳児健診	1 歳 6 か月児健診において保護者から発達相談の希望のあった児に対し実施。臨床心理士等による発達検査や相談を行った。	16 名

事業名	内容	実績
母乳外来費用助成事業	母乳外来にかかる費用を一部助成し、産後の母親のケア、育児支援を行った。	24名 延べ51件助成
思春期保健に関する学習の実施（健康教育）	飲酒や喫煙、薬物に関する講義を実施。	開成中1回 95名
出産・子育て応援事業	令和4年4月1日以降に出産された方を対象に、妊娠届出時の面談実施後に「出産応援ギフト」として妊婦1人あたり5万円、赤ちゃん訪問での面談実施後に「子育て応援ギフト」として、子ども1人あたり5万円を支給する出産・子育て応援事業を実施。	74件

- (2) 「大野市青少年育成方針・令和4年度の共通目標」案について確認しました。  
特に修正はありません。

(1) 令和4年度の活動報告

子育てにかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための施策など、第2期大野市子ども・子育て支援事業計画に基づき総合的な子ども・子育てを推進しました。

また、子育て応援施策については、「大野ですくすく子育て応援パッケージ」として取りまとめ、大野で暮らす若者が大野で子育てをしたい、子育てが楽しいと思っただけけるよう、ライフステージに合わせて、切れ目のない支援を行ってきました。

特に、児童の健全育成や虐待防止、見守りの実施に関する取り組みは次のとおりです。

<p>要保護児童対策事業</p>	<p>○要保護児童等の適切な保護及び支援を図るため、関係機関、関係団体及びそれらに従事する職員で構成する要保護児童対策地域協議会において情報交換や個別ケース会議を実施。</p> <p>代表者会議（1回）、実務者会議（12回）、個別ケース会議（随時）</p> <p>○児童虐待防止研修会の実施</p> <p>令和4年8月3日（水）保育園保育士、小中学校教諭等50名参加</p> <p>○児童虐待防止月間街頭啓発の実施</p> <p>令和4年11月9日（水）市内スーパー等3カ所</p>
<p>子育て世代包括支援センター事業</p>	<p>妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対し、ワンストップで切れ目のないサポートを行う窓口を設置し、相談や悩みに対応するほか、各種サービスの紹介を行った。</p>
<p>地域組織活動育成事業補助</p>	<p>児童を持つ保護者等の組織の活動費に対する補助を行い、地域における見守り等の活動を支援した。（支援団体18団体）</p>
<p>子ども食堂見守り支援事業補助</p>	<p>地域社会から孤立しがちな子育て家庭に対する食事の提供等を通じ、家庭の状況を把握し、子どもに対する生活指導、学習支援などの見守り体制を強化した。（上庄子ども食堂）</p>
<p>母子家庭等自立支援事業</p>	<p>ひとり親家庭等の学習支援と生活の向上に資するため、大野市ひとり親家庭等学習支援事業を実施した。（年間36回）</p>
<p>児童センター管理運営経費</p>	<p>児童の健全な育成を図るため児童センターを運営し、児童への遊びの指導等を実施した。（新型コロナウイルス感染症対策のため、令和4年4月1日～5月29日、7月20日～9月30日は自由来館を中止）</p>
<p>放課後児童クラブ事業</p>	<p>市内5児童センターにおいて、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に放課後児童クラブを実施し、放課後における児童の健全な育成を図った。</p>

(1) 令和4年度の活動報告

① 運営方針

令和4年度大野市教育方針による教育の推進

② 事業

【児童生徒の学習・生活支援】

- ・ 結の故郷教育支援員の配置・・・25人配置

(内訳) 特別支援教育支援担当20名、登校支援担当2名、就学支援担当2名、外国人子女等支援1名

< 結の故郷教育支援員研修会 >

第1回: 4月7日(木) 講師: 宇野 佐知子氏(有終東小学校教諭)

「障がいに対する正しい理解と適切な支援、校内での連携の仕方について」

第2回: 8月22日(月) 講師: 中村 純代氏(SSW: 令和2年度大野市SSW)

「アセスメントによる見立てと手立ての方法について」

- ・ 結の故郷教育相談員の配置・・・10人配置

< 結の故郷教育相談員研修会 >

第1回: 4月11日(月) 講師: 中村 純代氏(SSW: 令和2年度大野市SSW)

「アセスメントによる見立てと手立ての方法について」

第2回: 8月22日(月) 講師: 中村 純代氏(SSW: 令和2年度大野市SSW)

「アセスメントによる見立てと手立ての方法について」

第3回: 12月23日(金) 講師: 中村 純代氏(SSW: 令和2年度大野市SSW)

「気がかりな子へのかかわり方や支援について」 ⇒ 大雪のため中止

【生徒指導】

- ・ 大野市いじめ問題対策連絡協議会 第1回: 8月1日(月) 第2回: 必要時に開催  
重大ないじめ事案の発生時についての、第三者委員会の立ち上げについて 他

- ・ 大野市児童生徒問題行動地域対策会議 第1回: 7月8日(金) 第2回: 12月2日(金)  
第2回講師: 川上 典孝氏(福井県教育庁義務教育課生徒指導・人権教育G指導主事)  
大野警察署、愛護センター、適応指導教室、小中学校生徒指導主事、教育総務課

- ・ いじめ・不登校防止対策連携会議 年5回(5月、7月、10月、12月、2月)  
教育総務課、こども支援課、適応指導教室、SSW、おくえつ児童家庭支援センターめぐみ

- ・ 要対協実務者会議、子育て包括会議 年12回(毎月)  
教育総務課、こども支援課、県総合福祉相談所

**【教育相談】 ※不登校対策**

- ・ スクールソーシャルワーカー配置事業 2人配置 ※年度途中で1人交代  
対応校:小学校2校、中学校4校(小学校訪問のべ6回、中学校訪問のべ9回、対象児童生徒家庭訪問のべ148回)
- ・ 適応指導教室事業  
電話相談64件、いじめ悩み相談2件、来室者のべ311名、学校訪問43件、家庭訪問106件

**【魅力ある学校づくり】**

- ・ 魅力ある学校づくり推進事業
  - ① 担当者会議 第1回:4月15日(金) 講師:中野 澄氏(大阪成蹊短期大学グローバルコミュニケーション学科長 教授、元国立教育政策研究所総括研究官)  
「居場所づくり」と「絆づくり」
  - ② 授業アドバイザー派遣 4名 対象:全小中学校 計33回 ※一部、学校費で対応  
松友 一雄氏(福井大学教育学部教授) 岸 俊行氏(福井大学教育学部准教授)

**【18年をつなぐ学び】**

- ・ 幼小中高等連携事業
  - ①「大野っ子」育成の集い 7月29日(金)(有終会館)  
「魅力ある学校づくり ～絆づくりをどうしかけるか～」  
講師:中野 澄氏(大阪成蹊短期大学グローバルコミュニケーション学科長 教授、元国立教育政策研究所総括研究官)  
「パネルディスカッション」 パネラー:市内小中学校教諭4名
  - ② 幼小連絡協議会 年1回(5月) 9小学校、14幼保園
  - ③ 中高連絡協議会 年3回(6月、10月、1月) 5中学校、3高等学校

**【学力向上】**

- ・ 大野市学力調査事業 12月6日(火)、12月7日(水) ※小1～小4、小6を対象  
大野市学力調査分析結果活用説明会 令和5年1月31日(火)  
講師:岩崎直哉氏(富山国際大学)、吉本哲専氏(東京書籍北陸支社)



(1) 令和4年度の活動報告

「第六次大野市総合計画」「大野市教育方針」「大野市生涯学習推進計画」に基づく教育の推進

○生涯学習G

・ジュニアリーダーの育成

登録者11名（開成中6名・上庄中3名・高校生2名）

チャレラン大会（2名）・ふるさとかるた大野市決戦大会（1名）の当日スタッフ協力

・結の故郷・小学生ふるさと芸能発表会

8月13日（土） 学びの里「めいりん」講堂（中止）

・放課後児童クラブ・放課後子ども教室連携事業

12月26日（月） 学びの里「めいりん」体育館

参加者65名（放課後児童クラブ63名、放課後子ども教室2名）

各児童クラブや放課後子ども教室が用意した工作教室やチャレラン競技などを体験

・家庭教育講演会（市PTAと共催）

12月3日（土） 「おはなしで寄り添う心と心」 絵本作家 サトシン氏

○文化財保護G

・歴史や文化、自然を学ぶ事業講師派遣

5月11日（水） 大野高等学校「大野の歴史と環境について」 参加者48名

10月14日（金） 下庄小学校「和泉郷土資料館 見学」 参加者53名

11月16日（水） 阪谷小学校「和泉郷土資料館 見学」 参加者8名

（随時） 歴史博物館・民俗資料館での校外学習対応

・歴史博物館「うぐピーからの挑戦状 なぞの文字をよめるかな？」（図書館まつりに参加）

10月31日（日） 参加者125名

・民俗資料館「昔の道具をつかってみよう！」

11月3日（木・祝） 参加者15名

○図書館

・図書館での土日曜日の取り組み

第1土曜日 小倉百人一首 第3土曜日 自然あそび うきうき！ボードゲームくらぶ

第4・5土曜日 おはなし会

・第5回図書館まつり 10月30日（日） 入館者数2,161名

・第3回夏休み宿題支援事業

7月22日（金）～8月12日（金） 対象：1年生～6年生（各学年2日間実施）

参加者89名

・読み聞かせボランティア派遣事業（小学校2校）

・ブックトーク（小学校7校、高校2校）

・おとしょちゃんのうきうきお届け便（小学校7校、中学校3校、高校2校）

# (案)

## 大野市青少年育成方針

次世代を担う青少年が、地域に生まれ心身ともに健康でたくましく成長することは市民全体の願いであり、その育成は、将来の社会を確固たるものとするための大切な基盤づくりといえます。そのためには、全市民が青少年により一層の関心を持って問題に取り組むことが重要です。

近年、家族のあり方が多様化したり青少年の地域での役割が減少したりする中で、スマートフォンやタブレット端末などによるインターネットの利用拡大により、社会環境が大きく変化し、青少年健全育成の観点から見て憂慮すべき現状にあります。

また、全国的に青少年による問題行動の低年齢化や凶悪化が広がっているばかりでなく、虐待やいじめにより尊い命が奪われるなど青少年が直接被害を受ける事件も多発しています。こうした背景には、大人のつくり出す社会全体の「規範意識」や「モラル」の低下が要因のひとつとなっていることを見逃せません。さらに、新型コロナウイルス感染対策に伴うさまざまな制約から、青少年の間で閉塞感や孤立感が生じることになり、青少年の健やかな成長に多大な影響を与えています。

このように、今日の青少年問題は、家庭、地域、学校など広範な領域に、社会風潮や社会現状が複雑に絡み合って発生したものと考えられます。今こそ、先人から受け継がれてきた、助け合い、支え合う結の心を基に、「家庭・地域・学校」及び「行政・企業」が連携を密にし、一体となって青少年の健全な育成に取り組む必要があります。

そこで大野市青少年問題協議会では、健全な青少年を育成するために、次の3項目を青少年育成方針として定めます。

- ①大人自身の規範意識とモラルの向上に努め、日常の言動を見つめ直す。
- ②青少年との信頼関係を強固にするため、青少年の理解に努めるとともにその現状を探求する。
- ③行政機関・諸団体は、相互に連携・協力し、健全で安全な社会環境づくりに取り組む。

令和5年3月修正

### 令和5年度の共通目標

- ・地域に根ざした活動を積極的に実施し、子どもと大人のつながりがある地域を作ろう。
- ・関係機関の連携を深め、地域への啓発活動と青少年や家庭への支援を充実させよう。
- ・ネット犯罪に巻き込まれないよう、青少年や保護者への働きかけを進めよう。